



もっと知りたい
ちっごの課題

常任委員会報告

提出された議案を
くわしく審査!

公営住宅では日本初の構造 —常用団地—

総務文教委員会

委員会では、条例制定3件、補正予算2件を審査し全て全員賛成にて原案可決した。

**副市長は
1人制に戻る**
副市長を2人から1人

へと変更する条例改正については委員から「副市長2人制でも多忙である中、1人で大丈夫か」の質問に「部長で対応できる」との答弁があった。さらに部長制廃止と副市長2人制を検討する中で、検証の結果、業務への支障など考慮し、専任の部長制を存続する必要がある、副市長1人制への見直し案が出てきた。そのことで他団体の状況や行革の視点から副市長1人制を決定したとの説



外壁工事中のサザンクス筑後

明があった。また委員より「今回元に戻った感があるが機構改革の中で教育次長を専任に戻す考えはないのか」との質問に「現在、次長は学校教育課長との兼務だが、検証して業務が難しいのであれば今後の課題として対応したい」との答弁があった。

**サザンクス筑後の
大規模改修工事
始まる**
補正予算中、サザンクス筑後の改修については、平成27年までの費用として約5億円を見込んでいくことが明らかにされた。また、橋梁・水道・下水道等の補修計画については個別の計画はあるが、全体でどの程度の事業費になるのか、財政計画を含めて中長期的方針を作成する必要があるとの認識が示された。

厚生委員会

委員会では条例改正4件、補正予算1件を審査し、全議案とも全員賛成で可決した。

**小学6年まで
入院費の助成を拡大**

乳幼児医療費の助成に関する条例改正は、4月から助成対象を、入院に限り従来の未就学児から小学6年生までに拡充するもの。経費増は約500万円を見込むが、入院に限る理由は、通院まで広げると新たに6千万円の財源が必要となるため。

併せて、未就学児に対する助成の所得制限を撤廃する。これは就学前の子育て支援策と近隣の状

況を勘案したため。なお、現段階ではすべての所得制限を撤廃する考えは持ちあわせていないことの見解も示された。

**女性消防団員7人増
地域での活動に期待**

消防団員を増やす条例改正は、本部付の女性団員を7人増やして22人とするもの。女性団員の現在の活動は、家庭訪問などの広報や防火、救護活動における指導、初期消火の一翼を担うことを想定したポンプ操法の訓練など。

委員会では、地域における消火栓操作の訓練や住宅用火災警報器設置に関する訪問活動などで女性団員の力量発揮を期待する声が出された。

**待機者解消にむけ
29床の特養ホーム
設置**

補正予算中、市内初となる地域密着型の特別養



総務省消防庁ホームページより

護老人ホーム設置は、新たに市南部に29床の整備を図るもの。現在、要介護者で実質的に施設入居の必要な自宅待機者は48人ほどが見込まれ、1日も早い整備が待たれている。さらに来年度、市外からの入所も可能な広域型の施設設置で40床の整備が予定されていることも報告された。

建設経済委員会

委員会では、条例制定2件、補正予算1件、工事請負契約の締結1件、市道路線の廃止1件、認定1件について審査し、全議案とも全員賛成で可決した。

**恋ぼたる温泉館の
休憩室増設**
広域公園内休憩施設設置及び管理に関する条例制定については「増設することにより一日の利用者が270人になることを期待すると言いが、利用者の状況を分析し利用者増を図ったかどうか」との質問に「PRについては新年度予算に計上しており、市としてもしっかりとやっていく。また指定管理者にも力を入れるよう話している」と答弁があった。



増設工事中の恋ぼたる温泉館休憩室

**新しい常用団地は
日本初の構造**

工事請負契約の締結について「公営住宅では日本初の建築構造での建て替え工事と聞くが、水回りを中央にする構造のメリット、デメリットは」との質問に「2LDKについていうと、メリットは仕切りをすることで4つに区切ることができるなど、住む人によって間

取りが変えられる。仕切りのところは収納引き戸になっており、邪魔にならないような収納ができる。境になっていくところは完全オープンにできるような構造を考えている。空調に関しても省エネができる。デメリットは、共同生活をするにはプライバシーがなくなるという点がある」と答弁があった。



建て替えられる常用団地の完成予想図